

呼吸器系ウイルスの空気感染

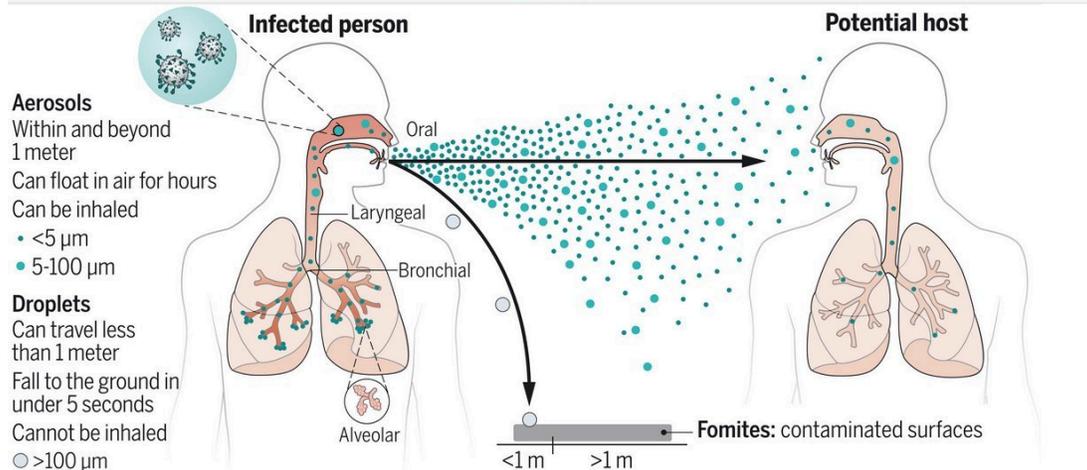
Airborne transmission of respiratory viruses

CHIA C. WANG¹, KIMBERLY A. PRATHER², [...], AND LINSEY C. MARR³ +4 authors [Authors Info & Affiliations](#)

SCIENCE • 27 Aug 2021 • Vol 373, Issue 6558 • DOI: 10.1126/science.abd9149

418,828 345

(中略)



呼吸器系ウイルスの空気感染に関与する段階。

ウイルスを含んだエアロゾル (<100 μm) は、感染者の呼吸活動を通じて最初に生成され、それによって吐き出されて環境中に輸送されます。それらは感染性を維持している限り、潜在的な宿主によって吸入されて新たな感染を引き起こす可能性があります。飛沫 (>100 μm) とは対照的に、エアロゾルは空気中に何時間も滞留し、それを吐き出した感染者から 1 ~ 2 m を超えて移動し、短距離と長距離の両方で新たな感染を引き起こす可能性があります。クレジット: N. ケアリー/サイエンス



- ウイルスを含んだエアロゾル (<100 μm) は空気中に漂う
- 一方で、飛沫 (>100 μm) はすぐに地面に落ちる
- つまり飛沫を防いでも、エアロゾルにより空気感染してしまう
- 図はサイエンス誌「呼吸器系ウイルスの空気感染」Wang2021[1]より

図 5-6-1: サイエンス誌「呼吸器系ウイルスの空気感染」が掲載